



皆川てるお県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

鎌ケ谷市民と県政の架け橋として積極的な議員活動を繰り広げている皆川輝夫（みなが・てるお）県議は2月県議会で一般質問を行い、地元・鎌ケ谷市で広く栽培されている梨

鎌ケ谷市特集

の栽培問題を取り上げて、栽培の現状や今後の方針を県の担当者に尋ねました。また、予算委員会でも質問に立ち、懸案になっている東京10号線延伸新線について、県の考え方を質しました。

皆川議員 本県の梨栽培は平成8年に産出額で全国一位となり、平成16年から栽培面積、収穫量も含めて全国一位を維持し、「味が自慢の千葉のなし」として高い評価を得ている。しかしながら、生産や販売の現場ではさまざまな問題がある。生産力が低下した樹齢30年以上の老木が増加し、改植の必要性が高まるとともに、新品种の期待も大きくなっている。

農林水産部長 本県の梨は、「味が自慢の千葉のなし」をキャッチフレーズに、8月の「幸水」に始まり、「豊水」「新高」の3品種を主体に、10月まで順に出荷されています。県では、販売品種を拡大するとともに、連続して出荷できるよう9月中旬に出荷ピークを迎える品種「あきづき」を推進しており、導入した産地では、「幸水」「豊水」「あきづき」「新高」と切れ目ない出荷が可能となりました。また、大玉で日持ちの良

梨生産に支援を

2月県議会一般質問



一般質問で農業問題などを質問する皆川輝夫県議

さらに市場価格の低迷などによる所得の低下や、環境問題から償却が困難になっている剪定枝の処理などの課題がある。また、販売面では景気低迷で贈答需要が減少し、直売の売り上げが伸び悩むなど販売環境にも変化が生じている。

皆川議員 改植や剪定枝の処理に対して、どのような支援策を講じているのか。農林水産部長 梨栽培では、生産力を維持するため老木の改植や、剪定作業で大量に発生する枝の円滑な処理が、重要な課題となっています。改植については、改植後5年程度は収穫できないため、経営を圧迫しない計画的な改植が求められており、県では、所得減少を最小限に抑える試算システムの開発や、改植後できるだけ早く安定した収穫ができる栽培技術の普及などの支援を行っています。

剪定枝の処理については、焼却時に煙が出ない炭化装置の開発や微生物資材を使った堆肥化など、様々な処理方法を検討してきました。また、早期の摘心により枝の量を減らす技術を確立し、現地に普及するとともに、処理に必要な破砕機、堆肥生産に必要な機械、堆肥置き場などの導入について支援しています。

新品種、改植技術の開発 剪定枝の処理施設も必要

「新高」は、近年、夏の高温による被害が多くなっており、生産者や市場関係者から、新品种の育成を要望されています。

す。

県では、現在、「新高」に代わる新品种の育成に取り組んでいるところであり、できるだけ早期に発表できるように努めてまいります。

皆川議員 梨の販売促進にどう取り組んでいるのか。農林水産部長 梨については、単独での販売フェアや味自慢コンテストなどにより、そのおいしさをアピールしているところです。また、経済成長の著しい東南アジアでの需要拡大が期待できることから、本年度はタイでセールスプロモーションを実施するとともに、生産者団体の輸出の取り組みに対して支援を行いました。

タイでセールス

皆川輝夫県議 profile

- 略歴**
- 昭和27年1月 鎌ケ谷市生まれ 市立東部小学校、私立市川学園中学・高等学校卒業
 - 昭和52年3月 青山学院大学院卒業
 - 平成11年4月 千葉県議会議員に初当選
 - 平成15年4月 千葉県議会議員に再選
 - 平成19年4月 千葉県議会議員に3選
 - 平成23年4月 千葉県議会議員に4選

- 現職**
- 千葉県議会商工労働委員会委員
 - 千葉県議会運営委員会委員
 - 自民党県連財務委員会副委員長
 - 学校法人皆川学園理事長（鎌ケ谷ふじ幼稚園、ふじ第2幼稚園）
 - 社会福祉法人初富福祉会理事長（くぬぎ山保育園、りすのこ園）

県政や鎌ケ谷市のご相談ご意見を聞かせてください



皆川てるお県議事務所

〒273-0137

鎌ケ谷市道野辺本町1-4-34

TEL047(441)0057

FAX047(441)0867

E-mail t-minagawa@nifty.com

HPもご覧下さい...

検索

ちば自民党

議員リスト

県議会議員

鎌ケ谷市

国道464号線成田開通までに 栗野バイパス建設急げ

皆川議員 国道464号は松戸市を起点とし、鎌ヶ谷市から千葉ニュータウンを経由し成田市までを結ぶ幹線道路だが、近年における鎌ヶ谷市内の急激な発展に伴い、鎌ヶ谷市街地における交通渋滞は悪化の一途をたどっている。

今後、成田方面から鎌ヶ谷市へのアクセスが向上することから、市内を通過する交通量が一段と増加することが見込まれるが、市内の渋滞緩和を目的にして県が実施している国道464号栗野バイパスについては、いまだに工事着手にいたっていない状況だ。そこでどうか、栗野バイパスの進捗状況はどうか。

県土整備部長 鎌ヶ谷市内では、交通混雑の緩和を図るため、国道464号のバイパスを計画しており、特に、県道船橋我孫子線側の0・8キロメートル区間について優先的に整備を行っている

県土整備部長 鎌ヶ谷市内では、交通混雑の緩和を図るため、国道464号のバイパスを計画しており、特に、県道船橋我孫子線側の0・8キロメートル区間について優先的に整備を行っている

予算委員会

皆川議員 市川市本八幡から鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷までの東京10号線延伸新線についていかがう。旧

県営鉄道北千葉線計画が廃止された経緯はどうか。

交通計画課長 昭和48

年、千葉県は本八幡駅・印旛松虫駅間の地方鉄道業免許を取得し、翌昭和49年に工事着手しましたが、その後、千葉ニュータウン事業の遅れにより、

ところです。

現在の進捗状況は、面積ベースで14%であり、今後鎌ヶ谷市と連携を図り、地元関係者の協力を得て、用地の取得に努めるなど、事業を推進してまいります。

皆川議員 国道464号北千葉道路が成田まで繋がったとしたら、もう鎌ヶ谷は混乱しない。

成田まで開通する3、4年の間に同時進行で栗野バイパスを進めて頂きたい。

新京成線連続立体交差早期完成へ事業推進

皆川議員 新京成線連続

立体交差は踏み切りの交通渋滞のみならず、鉄道により分断された市街地を一体化することにより、中心市街地の活性化が図られることから、市民の誰もがその早期完成を待ち望んでいる。そこでどうか、新京成線連続立体交差事業の進捗状況と今後の見通しはど

については、地元鎌ヶ谷市、市川市と連携して、第三セクターでの事業化に向けた調査検討を行ってきましたが、事業採算性など多くの問題があり、その実現は大変厳しい状況にあります。

皆川議員 旧県営鉄道北

千葉線の整備目的は何か。

東京10号線延伸新線

早急な結論避けるべき



大柏川第2調節池

用地75%を取得

皆川議員 真間川の治水

対策として、県は大柏川第2調節池を整備計画に位置づけ、平成18年度から用地買収に着手し、本格的な掘削に向けた工法検討を行っ

ているとのことだ。浸水被害の解消は地域住民の悲願であり、一刻も早い完成をお願いする。

県北西部の貴重な水辺空間にもなる大柏川第2調節池の整備状況と今後の見通しはどうか。

うか。

県土整備部長 県では、鎌ヶ谷市における市街地の一体化や交通の円滑化を図るため、新京成線の「鎌ヶ谷大仏駅」から「くぬぎ山駅」までの間の3・3キロメ

について、連続立体交差事業を行っているところです。今年度には、用地の確保が完了する見込みであり、この2月より、初富駅前後の2・2キロメートルで、仮線の運行が行われるようにな

つたところです。

平成25年度からは、残る区間の仮線運行を順次開始するとともに、高架橋工事を集中的に進め、早期完成が図られるよう事業推進に努めてまいります。

柏川第2調節池は、大柏川流域の浸水被害の軽減を図るため、鎌ヶ谷市、船橋市、市川市にまたがる大柏川上流部で整備を進めているところです。

これまでに19分の面積のうち、75%にあたる用地を取得するとともに、軟弱地盤であることから、今後の掘削に向けた検討を行っているところです。

今後とも、関係者の協力を得ながら用地取得を進めるとともに、早期に工事着手できるような努めてまいりたいと考えています。

皆川議員 上面利用計画

▲予算委員会で資料を示して質問する皆川県議

交通計画課長 千葉ニ

ータウンと都心を結ぶ鉄道の一部として計画された旧

県営鉄道北千葉線の主な整備目的は「千葉ニュータウン

入居者の輸送」「交通不便地域住民の利便の増進」でした。

皆川議員 東京10

号線延伸新線について、是非、千葉ニュータウンの状況変化を再度よく吟味していただくとともに、

の取り組み状況はどうか。

県土整備部長 大柏川第2調節池は、県北西部の都市近郊地域にあり、調節池整備後は貴重な水辺空間になるものと認識しています。

認知症疾患医療センター

指定拡大で体制強化

皆川議員 現在、千葉県

の高齢者人口は全国2番目の伸び率で増加している。

急速な高齢化に伴い、認知症高齢者の方も大幅に増加し、平成32年には約20万人へと増加する見込みと聞いている。

そこでどうか、認知症予防のための県の取り組み状況はどうか。

知事 認知症予防については、住民に身近な市町村が介護予防事業の中で実施していますが、県では、今年度から新たに、介護予防教室の講師となる人材の養成や、講師の報酬等に係る市

早急な結論を出すことは避けていただきたい。

皆川議員 東京10号線延伸新線に係る事業用地の、鎌ヶ谷市における用地取得状況はどうか。

二ニュータウン整備課長

旧県営鉄道北千葉線の用地として取得した土地のうち、現在、東京10号線延伸新線の用地として保有している鎌ヶ谷市内の土地は、4・2ヘクタール、鎌ヶ谷市

全体の必要面積6・7分の約63%となっています。

また、認知症の原因を特定し適切な治療に繋げるため、現在3か所の「認知症疾患医療センター」を、今後

二次保健医療圏に1か所以上指定し、早期診断・治療体制の強化を図ってまいります。

そこで、広く県民に対し、認知症サポーター養成講座等を通じて認知症の正しい知識を普及するとともに、日頃から高齢者が受診している「かかりつけ医」に対し、認知症診断の知識や技術等を習得するための研修などを実施しているところです。

また、認知症の原因を特定し適切な治療に繋げるため、現在3か所の「認知症疾患医療センター」を、今後二次保健医療圏に1か所以上指定し、早期診断・治療体制の強化を図ってまいります。